



Color &amp; Comfort by Chemistry

平成25年12月期

第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



平成25年11月11日

上場会社名 D I C株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4631 URL http://www.dic-global.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 中西 義之  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 二宮 啓之 TEL 03-6733-3000  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 平成25年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家等向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	384,955	10.0	22,781	22.3	20,659	24.9	10,682	△6.6
25年3月期第2四半期	349,840	△7.7	18,632	3.9	16,541	6.4	11,435	△8.7

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 37,449百万円 (134.4%) 25年3月期第2四半期 15,975百万円 (14.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	11.66	—
25年3月期第2四半期	12.47	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	760,355	192,805	22.3
25年3月期	692,991	160,731	19.8

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 169,601百万円 25年3月期 136,921百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
25年12月期	—	3.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	710,000	—	39,000	—	35,000	—	24,400	—	26.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年6月20日開催の定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されたことを受けまして、平成25年度より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。

従いまして経過期間となる当期の連結業績予想値においては、3月決算であった当社ならびに国内子会社につきましては、4月から12月の9ヶ月間を連結対象期間としております。一方、海外の子会社ならびに一部の国内子会社は、従来通り1月から12月の12ヶ月間を連結対象期間としております。

## [参考]

下記の%表示（調整後増減率）は、当社及び3月決算であった連結対象会社の前期業績を9ヶ月（平成24年4月1日から平成24年12月31日）の期間に合わせて業績予想と比較した増減率です。

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	(単位: 百万円)
710,000	39,000	35,000	24,400	
13.5%	12.1%	8.6%	38.1%	

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有  
詳細は、添付資料4ページ「3. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

当第2四半期連結会計期間よりたな卸資産の評価方法の変更を行っており、「会計基準等の改正等以外の正当な理由による会計方針の変更」に該当しております。詳細は、4ページ「3. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期2Q	919,372,048株	25年3月期	919,372,048株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	3,379,693株	25年3月期	3,359,492株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期2Q	916,002,816株	25年3月期2Q	917,069,309株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページをご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績 .....	1
(1) 当第2四半期連結累計期間の業績全般の概況 .....	1
(2) 当第2四半期連結累計期間のセグメント別業績 .....	1
(3) 2013年度通期業績予想 .....	3
2. 財政状態 .....	4
3. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績

当社ならびに一部を除く国内子会社は、平成25年度より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。従いまして当期は経過期間となり、当第2四半期連結累計期間は従前同様に、海外子会社は平成25年1月～6月、国内会社は平成25年4月～9月の状況について各々記載しています。

## (1) 当第2四半期連結累計期間の業績全般の概況

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く事業環境については、中国やインドを中心とする新興国の成長鈍化が顕在化するなど下振れ要因を抱えながらも、国内での円安による輸出環境の改善に加え、欧州の債務危機による景気低迷も下げ止まりつつあるなど、国内外における緩やかな景気回復の兆しが見られる中、自動車産業の需要が好調に推移した一方で、電気・電子産業の需要回復は依然弱い状況で推移しました。

このような事業環境の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、3,850億円と前年同期比10.0%の増収となりました。

営業利益は合理化効果、販売価格の是正、円安の影響などにより228億円と前年同期比22.3%の増益となりました。

経常利益は、207億円と前年同期比24.9%の増益となりました。

四半期純利益は、107億円と前年同期比6.6%の減益となりました。

	前第2四半期 連結累計期間 実績	当第2四半期 連結累計期間 実績	前年同期比	
				為替影響排除後
売上高	3,498億円	3,850億円	+10.0%	+0.1%
営業利益	186	228	+22.3%	+14.1%
経常利益	165	207	+24.9%	--
四半期純利益	114	107	△6.6%	--

(注) 当第2四半期連結累計期間の決算にあたり、海外関係会社の現地通貨建て業績を円貨に換算するための主な為替レート(期中平均：平成25年1月～6月)は、94.57円/米ドル(前年同期：79.49円/米ドル)を適用しています。

## (2) 当第2四半期連結累計期間のセグメント別業績

(単位：億円)

セグメント	売上高				営業利益			
	前第2 四半期 連結累計期間 実績	当第2 四半期 連結累計期間 実績	前年同期比		前第2 四半期 連結累計期間 実績	当第2 四半期 連結累計期間 実績	前年同期比	
				為替影響 排除後				為替影響 排除後
プリンティングインキ	1,754	1,911	+8.9%	△4.7%	67	81	+19.9%	+8.0%
ファインケミカル	536	643	+20.0%	+7.7%	54	75	+39.9%	+31.3%
ポリマ	759	842	+10.9%	+6.6%	62	59	△5.1%	△9.2%
アプリケーション マテリアルズ	631	643	+1.8%	△2.4%	27	41	+51.9%	+47.1%
その他	16	13	△19.0%	△24.5%	△3	△7	赤字増	赤字増
消去又は全社	△198	△202	----	----	△21	△21	----	----
計	3,498	3,850	+10.0%	+0.1%	186	228	+22.3%	+14.1%

(注) 当社は、中期経営計画「DIC105」の開始に伴い、平成25年4月1日付でセグメント区分を変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間実績については、変更後のセグメントに組み替えて記載しております。

各セグメントの業績は次のとおりです。前年同期比の( )内の数値は、為替換算の影響を排除した増減比を表しています。なお、プリンティングインキセグメントの業績にはセグメント内の地域間取引が含まれており、合計金額は上記の業績数値と一致しません。

[プリンティングインキ]

・日本	売上高：	421億円	前年同期比	△3.8%
	営業利益：	30億円	前年同期比	+0.5%

グラビアインキは、需要が堅調に推移し、増収となりました。オフセットインキと新聞インキは、従前からの需要減少傾向が継続していることから、減収となりました。以上の結果、全体としては減収となりました。

営業利益は、上記の売上状況により、前年同期並となりました。

・米州・欧州	売上高：	1,238億円	前年同期比	+14.8% (△3.4%)
	営業利益：	24億円	前年同期比	+94.8% (+62.2%)

北米・欧州においては、パッケージ用インキが堅調に推移しましたが、雑誌や新聞の発行部数減少などにより、出版インキと新聞インキが落ち込んだため、減収となりました。中南米においては、全品目において需要が回復し、増収となりました。以上の結果、全体としては、現地通貨ベースでは減収となりましたが、円安の影響により、増収となりました。

営業利益は、継続的な合理化や品目構成の改善などが奏功し、増益となりました。

・アジア・オセアニア	売上高：	336億円	前年同期比	+13.0% (△3.9%)
	営業利益：	28億円	前年同期比	+11.1% (△5.5%)

中国では、グラビアインキが好調に推移しましたが、景気減速の影響などによりオフセットインキおよび新聞インキが落ち込み、減収となりました。東南アジアでは、新聞インキが需要減少などの影響を受けたほか、グラビアインキとオフセットインキも低調に推移したことなどから、減収となりました。オセアニアでは、オフセットインキが好調でしたが、新聞インキが落ち込んだことなどにより、前年同期並となりました。インドでは、景気減速の影響により、主に新聞インキ、グラビアインキが苦戦を強いられ、減収となりました。以上の結果、全体としては、現地通貨ベースでは減収となりましたが、円安の影響により、増収となりました。

営業利益は、上記の売上状況により、現地通貨ベースでは減益となりましたが、円安の影響により増益となりました。

[ファインケミカル]

	売上高：	643億円	前年同期比	+20.0% (+7.7%)
	営業利益：	75億円	前年同期比	+39.9% (+31.3%)

有機顔料は、国内ではインキ用やカラーフィルター用が、欧米では塗料・プラスチック用、インキ用が、各々好調に推移し、国内外で増収となりました。TFT液晶は、液晶テレビ向け出荷が好調に推移し、増収となりました。以上の結果、全体としては増収となりました。

営業利益は、上記の売上状況などにより、大幅な増益となりました。

## [ポリマ]

売上高： 842億円 前年同期比 +10.9% (+6.6%)  
 営業利益： 59億円 前年同期比 △ 5.1% (△9.2%)

国内では、塗料用樹脂が、主に土木・建築向けに好調で増収となりました。エポキシ樹脂は電気・電子向けの需要が伸び悩んだことから前年同期並となりました。ポリスチレンは拡販などにより、増収となりました。海外では、主に中国および東南アジア子会社の健闘などにより、増収となりました。以上の結果、全体としては増収となりました。

営業利益は、品目構成の悪化などにより、減益となりました。

## [アプリケーションマテリアルズ]

売上高： 643億円 前年同期比 + 1.8% (△ 2.4%)  
 営業利益： 41億円 前年同期比 +51.9% (+47.1%)

機能性光学材料は、電気・電子向けの需要減少の影響を受けて落ち込みましたが、PPSコンパウンドは、自動車関連用途が好調に推移したこと、工業用粘着テープはスマートフォン向けに出荷が拡大したこと、また、インクジェットインキはシェアが拡大したことなどから、各々増収となりました。以上の結果、全体としては増収となりました。

営業利益は、品目構成の改善などにより、増益となりました。

## (3) 2013年度通期業績予想

(単位：億円)

	前期実績 (調整後)	通期予想 ※	前期比 (調整後増減率)	
				為替影響排除後
売上高	6,254	7,100	+13.5%	+1.9%
営業利益	348	390	+12.1%	+2.0%
経常利益	322	350	+8.6%	--
当期純利益	177	244	+38.1%	--

※前回予想(平成25年10月4日開示)と変更ありません。

(注) 通期の連結業績予想値においては、3月決算であった当社ならびに国内子会社は、4月から12月の9ヶ月間を連結対象期間としております。一方、海外の子会社ならびに一部の国内子会社は、従来通り1月から12月の12ヶ月間を連結対象期間としております。また、前期実績についても、これと同じ期間における数値を記載しております。

業績の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれています。業績に影響を与え得る重要な要素としては、国内外の経済情勢、市場の動向、原材料価格や金利、為替レートの変動などのほか、紛争・訴訟、災害・事故などのリスクがあり、また、事業再構築に伴う一時損失が発生する可能性があります。ただし、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

## 2. 財政状態

(資産、負債及び純資産の状況に関する分析)

当第2四半期末の資産の部は前期末と比べて674億円増加し、7,604億円となりました。債権流動化の減少に伴い売上債権が増加したほか、為替レート変動の影響でも資産が増加したためです。負債の部は、有利子負債の増加及び為替レート変動の影響などにより、前期末比353億円増の5,676億円となりました。また、純資産の部は、為替レート変動の影響等により前期末比321億円増の1,928億円となりました。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

[営業活動によるキャッシュ・フロー] 当第2四半期 △55億円 (前第2四半期 △150億円)

当第2四半期連結累計期間は、税金等調整前四半期純利益が169億円、減価償却費が149億円となりました。一方で、運転資本の増加により277億円の資金を使用し、法人税等に53億円を支払いました。以上の結果、営業活動に使用した資金の総額は55億円となりました。

[投資活動によるキャッシュ・フロー] 当第2四半期 △145億円 (前第2四半期 △104億円)

当第2四半期連結累計期間は、設備投資に165億円を使用しました。一方で、有形固定資産の売却により16億円の資金を取得しました。以上の結果、投資活動に使用した資金の総額は145億円となりました。

[財務活動によるキャッシュ・フロー] 当第2四半期 150億円 (前第2四半期 170億円)

当第2四半期連結累計期間は、借入により189億円の資金を調達した一方で、剰余金の配当として27億円を支払いました。以上の結果、財務活動により得られた資金の総額は150億円となりました。

## 3. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(たな卸資産の評価方法の変更)

当社及び一部の国内連結子会社におけるたな卸資産の評価方法は、従来、総平均法によっていましたが、当第2四半期連結会計期間より、先入先出法に変更しています。この変更は、新基幹システム導入を契機に、たな卸資産の受払に連動した評価方法へ移行すると共に、グループ内の会計処理の統一を図ることで、より適切な期間損益の把握と原価管理の推進を行うためのものです。

また、この変更は、当社及び一部の国内連結子会社が平成25年7月に新基幹システムを導入したことに伴うものであるため、当第2四半期連結会計期間より行っています。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,654	19,279
受取手形及び売掛金	183,221	219,116
商品及び製品	75,184	83,895
仕掛品	8,045	8,359
原材料及び貯蔵品	45,950	49,388
その他	25,714	28,087
貸倒引当金	△8,911	△9,553
流動資産合計	351,857	398,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	83,490	86,753
機械装置及び運搬具(純額)	59,907	61,939
工具、器具及び備品(純額)	7,561	7,997
土地	53,396	53,735
建設仮勘定	9,689	16,089
有形固定資産合計	214,043	226,513
無形固定資産		
のれん	1,227	1,150
ソフトウェア	10,285	10,905
その他	3,287	3,547
無形固定資産合計	14,799	15,602
投資その他の資産		
投資有価証券	36,663	38,310
その他	79,878	86,281
貸倒引当金	△4,249	△4,922
投資その他の資産合計	112,292	119,669
固定資産合計	341,134	361,784
資産合計	692,991	760,355



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	109,058	111,570
短期借入金	87,930	73,027
コマーシャル・ペーパー	7,000	32,000
1年内償還予定の社債	3,000	8,000
未払法人税等	5,770	6,804
賞与引当金	2,955	2,947
災害損失引当金	420	366
その他	55,561	62,182
流動負債合計	271,694	296,896
固定負債		
社債	33,000	28,000
長期借入金	178,367	191,832
退職給付引当金	29,711	30,500
資産除去債務	777	829
その他	18,711	19,493
固定負債合計	260,566	270,654
負債合計	532,260	567,550
純資産の部		
株主資本		
資本金	91,154	91,154
資本剰余金	88,758	88,758
利益剰余金	68,444	75,825
自己株式	△873	△879
株主資本合計	247,483	254,858
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410	1,222
繰延ヘッジ損益	△837	△503
年金負債調整額	△27,888	△29,686
為替換算調整勘定	△82,247	△56,290
その他の包括利益累計額合計	△110,562	△85,257
少数株主持分	23,810	23,204
純資産合計	160,731	192,805
負債純資産合計	692,991	760,355

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	349,840	384,955
売上原価	278,686	303,685
売上総利益	71,154	81,270
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	16,875	19,454
貸倒引当金繰入額	178	649
賞与引当金繰入額	1,235	1,308
退職給付費用	1,929	1,532
その他	32,305	35,546
販売費及び一般管理費合計	52,522	58,489
営業利益	18,632	22,781
営業外収益		
受取利息	852	602
受取配当金	156	185
為替差益	—	227
持分法による投資利益	1,269	845
その他	1,289	1,130
営業外収益合計	3,566	2,989
営業外費用		
支払利息	3,618	3,424
為替差損	821	—
その他	1,218	1,687
営業外費用合計	5,657	5,111
経常利益	16,541	20,659
特別利益		
固定資産売却益	1,781	524
災害損失引当金戻入額	1,207	—
特別利益合計	2,988	524
特別損失		
固定資産処分損	764	1,965
リストラ関連退職損失	60	1,526
減損損失	—	787
貸倒引当金繰入額	1,131	—
特別損失合計	1,955	4,278
税金等調整前四半期純利益	17,574	16,905
法人税等	5,198	5,259
少数株主損益調整前四半期純利益	12,376	11,646
少数株主利益	941	964
四半期純利益	11,435	10,682

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	12,376	11,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△643	848
繰延ヘッジ損益	△67	334
年金負債調整額	△560	△1,797
為替換算調整勘定	4,675	25,471
持分法適用会社に対する持分相当額	194	947
その他の包括利益合計	3,599	25,803
四半期包括利益	15,975	37,449
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,051	35,987
少数株主に係る四半期包括利益	924	1,462

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	17,574	16,905
減価償却費	13,387	14,852
のれん償却額	74	174
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,051	△208
賞与引当金の増減額 (△は減少)	197	△8
受取利息及び受取配当金	△1,008	△787
持分法による投資損益 (△は益)	△1,269	△845
支払利息	3,618	3,424
固定資産除売却損益 (△は益)	△1,017	1,441
減損損失	—	787
売上債権の増減額 (△は増加)	△30,265	△23,640
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,309	△3,546
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,509	△474
その他	△4,698	△6,473
小計	△8,556	1,602
利息及び配当金の受取額	1,735	1,607
利息の支払額	△3,639	△3,480
法人税等の支払額	△4,519	△5,257
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14,979	△5,528
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2	△389
定期預金の払戻による収入	106	126
有形固定資産の取得による支出	△9,858	△15,215
有形固定資産の売却による収入	2,048	1,604
無形固定資産の取得による支出	△1,796	△1,293
無形固定資産の売却による収入	3	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△386	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	71	—
関係会社株式及び出資金の取得による支出	—	△27
関係会社株式及び出資金の売却による収入	—	313
投資有価証券の取得による支出	△418	△22
投資有価証券の売却及び償還による収入	2	100
その他	△121	324
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,351	△14,479
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,459	△5,860
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	15,000	25,000
長期借入れによる収入	22,170	26,777
長期借入金の返済による支出	△16,867	△27,006
社債の償還による支出	△5,000	—
配当金の支払額	△1,835	△2,748
少数株主への配当金の支払額	△563	△881
自己株式の純増減額 (△は増加)	△210	△6
その他	△153	△248
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,001	15,028
現金及び現金同等物に係る換算差額	239	1,329
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,090	△3,650
現金及び現金同等物の期首残高	29,592	22,529
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,502	18,879

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	プリンティン グインキ	ファイン ケミカル	ポリマ	アプリケーシ ョンマテリア ルズ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	175,377	37,615	72,142	63,149	348,283	1,557	349,840
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	16,002	3,770	—	19,772	—	19,772
計	175,377	53,617	75,912	63,149	368,055	1,557	369,612
セグメント利益	6,721	5,393	6,211	2,682	21,007	△280	20,727

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	21,007
「その他」の区分の利益	△280
全社費用（注）	△2,095
四半期連結損益計算書の営業利益	18,632

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	プリンティン グインキ	ファイン ケミカル	ポリマ	アプリケーシ ョンマテリア ルズ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	191,065	46,689	81,669	64,272	383,695	1,260	384,955
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	17,637	2,538	—	20,175	—	20,175
計	191,065	64,326	84,207	64,272	403,870	1,260	405,130
セグメント利益	8,056	7,543	5,896	4,074	25,569	△668	24,901

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	25,569
「その他」の区分の利益	△668
全社費用(注)	△2,120
四半期連結損益計算書の営業利益	22,781

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間においては、「プリンティングインキ」セグメントにおいて764百万円、「ポリマ」セグメントにおいて23百万円の減損損失を計上しております。

## 4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、中期経営計画「DIC105」の開始に伴い、平成25年4月1日付でセグメント区分を変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## (重要な後発事象)

当社の運営するD I C川村記念美術館（千葉県佐倉市）収蔵のバーネット・ニューマン作「アンナの光」について、平成25年10月4日に譲渡手続きを完了しました。

## 1. 譲渡の理由

当社の経営ビジョンである「Color & Comfort by Chemistry（化学で彩りと快適を提案する）」の実現に向けた経営を推進するにあたって、財務体質の強化を図りつつ、今後の持続的成長のための合理化や成長分野への投資を行っていくことが重要課題であると認識しており、同作品の譲渡により得られる資金を活用し、積極的かつ迅速にこのような取組みを進めていくべきと判断しました。

## 2. 譲渡資産の内容

## (1) 資産の内容

D I C川村記念美術館（千葉県佐倉市）収蔵のバーネット・ニューマン作「アンナの光」

## (2) 譲渡価額

譲渡先との機密保持契約により公表は差し控えさせていただきます。

## 3. 譲渡先の概要

譲渡先との機密保持契約により公表は差し控えさせていただきます。

なお、当社ならびに当社の関係者および関係会社と、譲渡先ならびに譲渡先の関係者との間には、記載すべき資本関係、人的関係、取引関係はありません。また、譲渡先ならびに譲渡先の関係者は、当社の関連当事者に該当しません。

## 4. 譲渡の時期

譲渡手続き完了日：平成25年10月4日

## 5. 今後の見通し

平成25年12月期の連結決算において、特別利益として10,335百万円を計上する予定です。